



しゃしん 写真

暮

人生の節目のイベントや日々の生活の中で生まれる思い出を、
写真という形で人々に提供する。



ここに技あり!!

撮影に入る前に念入りなヒアリングを行い、会話の中からメッセージを読み取ります。髪の毛一本から服のシワ、衣類の袖

口や裾など細部にまで気を配り、光の加減や色調、現場の雰囲気を整えながらお客様の希望を出来る限り表現し、一瞬しかない最高の瞬間を捉えます。

写真師は写真館などのスタジオで、記念写真やポートレート、証明写真を撮るのが仕事です。七五三、入学式、卒業式、成人式、結婚式など、人生の節目のイベントに、大切な子供の成長や家族の記録として記念写真を撮影します。学校の行事や式典、イベントなどへの出張撮影も行っています。

ポーズや撮影場所を提案したり、被写体の表情や

個性を引き出すために、雰囲気作りを行うのも重要な仕事です。写真の技術と芸術的センスはもちろん、現在ではデジタルカメラでの撮影がほとんどのため、写真の加工などのパソコンの知識も必要です。

最初の数年間はアシスタントをしながら撮影技術の基礎を身につけ、一人前になるにはおおよそ5～10年程度の経験が必要とされています。

仕事の魅力

自らの技術で感動を創造し、その感動をお買い上げいただく、とてもやりがいのある仕事です。定期的にご来店いただけるお客様とは、赤ちゃんのときから成長を一緒にお祝いする関係を築くことなどもできます。

●学ぶ

美術系の大学、写真専門学校

●磨く

技能検定:写真技能士1～3級

●活かす

写真館やスタジオなどに勤め、技術やセンスを磨けば写真家として活躍することもできる。